

項目	内容
名称	パッションフルーツ [英]Passion fruit [学名]Passiflora edulis
概要	パッションフルーツはトケイソウ科トケイソウ属のブラジル原産の多年生草本で、食用とされるクダモノトケイソウ (Passiflora edulis) を指す。トケイソウ属の他の植物を総称してパッションフルーツと呼ぶ場合がある。果実やその果汁を絞ったジュースが食用とされるほか、南アメリカ、ヨーロッパ、南アフリカなどでは葉を煎じたものや抽出物、花から作った飲料などが民間療法として使用されている。
法規・制度	■ 食薬区分 ・トケイソウ果実、茎、葉、花：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・葉、茎、果実は、青酸配糖体 (プルナシン、サンブニグリンなど) を含む (PMID:12150815)。 ・葉、果皮は、フラボノイドを含む (101) (PMID:21858882)。 ・アルカロイド (ハルマン、ハルマリン、ハルマロール、ハルミン、ハルモールなど) を含む (101)。 ・種子は、ピセアタンノールやその二量体のスキルプリンBを含む (PMID:20822151) (PMID:21526844)。
分析法	・葉、果皮に含まれるフラボノイドをHPLC-DAD、HPLC-MSにより分析した報告がある (PMID:21858882)。

- ・葉、茎、果実に含まれる青酸配糖体をTLC、VLC、MPLCおよびNMRにより分析した報告がある ([PMID:12150815](#))。
- ・種子に含まれるポリフェノール類をLC/MS、HPLCにて分析した報告がある ([PMID:20822151](#)) ([PMID:21526544](#))。
- ・果実、種子に含まれるアルカロイド (ハルマン) をSBSE法を用い、蛍光検出器付HPLCにより分析した報告がある (104)。

有効性

循環器・呼吸器	<p>RCT : 海外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喘息患者43名 (試験群22名、平均36.4±15.7歳、イラン) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、パッションフルーツ果皮メタノール抽出物 150 mg/日を4週間摂取させたところ、喘鳴、咳、息切れの減少が認められた。一方、肺活量 (努力性肺活量、1秒量、1秒率) に影響は認められなかった (PMID:19083404)。 	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。	
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。	
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。	
ヒト	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
での評価	骨・筋肉	<p>RCT : 海外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変形性膝関節症の患者33名 (試験群17名、平均55±14.1歳、イラン) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、パッションフルーツ果皮抽出物 150 mg/日を60日間摂取させたところ、変形性膝・股関節炎評価 (WOMAC) の総合スコア、下位3項目中2項目 (痛み、身体機能) の改善が認められた。一方、WOMAC (こわばり) に影響は認められなかった (PMID:20934601)。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	<p>RCT : 国内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肌の乾燥を自覚する健康な女性32名 (35~54歳、試験群16名、日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、パッションフルーツ種子抽出物 37.5 mg (ピセアタンノール5 mg含有) /日を8週間摂取させたところ、顔の肌や髪、爪の状態および体調に関する自己評価20項目中1項目 (発汗) の低減が認められた。一方、皮膚水分量、経表皮水分蒸散量、皮膚粘弾性、肌の明るさ、肌の画像解析 (キメ、シミ、シワ、肌荒れ、赤み) に影響は認められなかった (PMID:29491276)。

参考文献

- (76) 日本食品大事典 医歯薬出版株式会社
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
(101) Medicinal Spices and Vegetables from Africa 2017. pp513-26
(102) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修
(103)健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規
(104) J Braz Chem Soc. 2014;25(8):1472-83.
[\(PMID:12150815\) Phytochemistry. 2002 Aug;60\(8\):873-82.](#)
[\(PMID:20822151\) J Agric Food Chem. 2010 Oct 27;58\(20\):11112-8.](#)
[\(PMID:21526844\) J Agric Food Chem. 2011 Jun 8;59\(11\):6209-13](#)
[\(PMID:21858882\) Phytochem Anal May-Jun 2012;23\(3\):232-9.](#)
[\(PMID:19083404\) Nutr Res. 2008 Mar;28\(3\):166-71.](#)
[\(PMID:20934601\) Nutr Res. 2010 Sep;30\(9\):601-6.](#)
[\(PMID:29491276\) J Nutr Sci Vitaminol \(Tokyo\). 2018;64\(1\):75-80.](#)
[\(PMID:19927549\) Ann Allergy Asthma Immunol. 2009 Nov;103\(5\):449.](#)